神中しーぶん

平成26年
10月20日

神原中
不定期29号

第二学期始業式!!

～秋休みの充電期間を終えて再活動へ～

秋休みも終わり、二十日(月)第二学期の始業式が行われました。

校長先生の話の中で、生徒の皆さんが事件事故に巻き込まれることなく元気で登校してくれたことを嬉しく思います。

修学旅行や到達度、進路選択等，成長するための大きなチャンスがあるので、二学期も大きく飛躍して欲しい。さらに、時間を守る、場に応じた言葉遣いをする、きちんと清掃をする等、当たり前のこともできるようにも取り組んで欲しい。

更に、タリバンにも屈せず、女性の教育の必要生を説いてノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイについて話をしています。マララさんは国連でのスピーチで、「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペンで世界を変えられる」とも言っています。大人でもできないような活動を現在も行っています。私たちも自分の立ち位置で自分にできることは何か？ということを考えてもらいたい。今学期も先生方と生徒の皆さんで力を合わせて神原中学校を更に素晴らしい学校にしていきたいと思います。

始業式の後に、旗頭フェスタへ向けた激励会が行われました。参加するメンバーを代表して、桃原竜希さんが「華鳳会の上原さん、山城さんの指導の下、日々練習を頑張ってきました。僕たちは部活もあり、両立させるのは大変でしたが、やっていくうちに楽しく充実感も味わえるようになってきました。本番ではちゃんと旗を持てるように頑張りたいです。応援よろしくお願いします」と述べた。

11月予定行事!!

2日	那覇地区駅伝競走大会（久米島大会）
4日	安全点検日，水の授業
5日	修学旅行説明会 火曜日の時間割
7日	事務所による学校訪問 講演会(情報モラル等) 六校時目…授業参観
10日	人権の放送，学年会 後期時間割開始 身なり週間～14日
11日	テスト前部活停止～18 校内推薦学級〆切
12日	異文化交流会
13日	生徒会専門委員会
14日	授業参観 夜間巡視(2の3)
15日	県中学校駅伝競走大会
18日	中間テスト(英・社・数)
19日	中間テスト(国・理) 避難訓練
20日	那覇地区音楽発表会
22日	地区中学校総合文化祭（那覇市民会館）
23日	勤労感謝の日
24日	振替休日
25日	小中合同挨拶週間～28 学年朝会 推薦委員会　～26日
29日	歴史能力検定試験

神原ノート表彰！

去る十月十日の終業式の後、校長先生より神原ノートの表彰が行なわれました。事前にＰＴＡ学力向上推進委員のメンバーが全員の神原ノートをチェックし、表彰に値するノートを厳選しています。表彰されたのは、各学年を代表するもので、残りの生徒については各学級担任から手渡されました。表彰対象者は次の通りです。おめでとうございます。

☆最優秀賞…赤嶺優実①、上原功也②
翁長桃花③

☆優秀賞…砂川陽南乃①、新垣小百合①
赤嶺優奈②、島袋友里②、大城藤乃③
林田唯菜③、新里潤一③

☆優良賞…中野理湖①、親川幸平①
新城健斗①、大濱愛瑛②、久高正虎①
丸山実久①、仲本千花②
小濱初音②、大城葵②、平野実仁菜②
諸見聖夜②、宮城未来③、松田和真③
友寄江梨花③、玉城未来③
赤嶺優香③、新垣綾映③
島袋希恵③、新里真由③

☆最優秀学級賞
一年一組、二年一組、三年二組

次回へ向けて、他の生徒も取組を！

ポイ捨て禁!!

去る10月1日、委員会が農連から与儀公園向けの一歩通行側の校内へのポイ捨て状況を見に来ました。

一般市民から市長宛に寄せられた手紙より，通行人によるポイ捨て状況がひどく、校内の美観が損なわれているとのこと。何年か前から改善が見られないとの内容もありました。確かに植え込みや雑草に隠れ，校内からは見えづらいかも知れないが，外から見ると非常にゴミが多いのに少なからずショックを受けました。わずか直線距離100ｍぐらいの範囲内で実際に処理した結果、ゴミの量は次の通りでした。

空き缶・ビン…１袋
ペットボトル…１袋
燃やすゴミ…大2, 小2袋
壊れた傘…５本
その他(ナベ、犬の糞)

犬の糞には困りました。巻ちり紙で包んであるのだが。ちょっと溜めすぎました。

航空教室開催！

来る十一月十六日(日)十時～十七時の間、将来航空業界での就労を目指す方のために、那覇空港にて航空教室が開催されます。航空整備士やグランドスタッフ、パイロット、キャビンアテンダント、航空管制官等による講話。午後には職種別にグループミーティングにてより詳しい話が予定されています。(先着八十名)

申込…日本航空技術協会ホームページを参照。(各個人で直接申込)

台湾での交流！

去る十月十三日(月)～十六日(木)、沖縄台湾相互交流に参加したメンバーが、十六日の午後八時三十分過ぎに無事元気に帰ってきました。

出発当日は、前日までの台風の影響もあったのか？国際線ターミナルは、多くの人でごったがえしていました。今回の経験を自分自身の財産として、今後に活かして欲しいと思います。

出発式の後↓

一学期終業式の校長あいさつ

平成２６年１０月１０日（金）

４月の鮮やかな花々に囲まれて迎えた始業式・入学式から数えて１年生は105日，２・３年生は106日学校生活を送りました。入学・進級したときに立てた目標は，やり遂げる事ができたでしょうか。一学期の終了にあたり，自分の心を見つめ，できたこと，できなかったことを振り返り，二学期に向けて新たな目標を設定してほしいと思います。そこで一学期の学校生活について振り返ってみます。まず，出席状況について

この一学期，遅刻，欠席が一回もない皆出席者の数は1年生で14名，２年生で26名，３年生で58名，合計98名でした。約30％の生徒が会出席になっています。一日も休まず学校に来るということは並大抵の頑張りではありません。

本校の読書の目標冊数は40冊ですが,一学期に25冊以上図書館から本を借りて読んだ生徒の数は，1年生が53名，２年生が65名，３年生が104名でした。１年生は60％，２年生は56％，３年生は80％の生徒が25冊以上本を借りたことになります。また，もうすでに年間目標の40冊を達成している生徒が１年生で31名，２年生で48名，３年生で71名います。すごいことです。

さらにすごいことに，一学期間で100冊以上借りた生徒が全体で70名います。200冊以上本を借りた生徒は34名。その中で300冊以上読んでいる生徒もいます。３年生の中島三結さん，新里潤一さん，喜納勝海さん，長谷川智也さんです。ほんとうにすごい！と思います。本を読んで視野を広げることは，自分自身の心を耕すことに繋がります。

また，神原ノートを３冊以上終了して校長室に提出した生徒は全体で91名でした。その中で一番多い冊数は８冊で，校長先生のところで把握している人は，３年生の浦崎永涼さん，翁長桃花さん，林田唯菜さん２年生の島袋友里さん，上原功也さんです。これもすごい。

皆出席も，読書も，神原ノートも毎日の地道な頑張りです。神原中には地道にこつこつと頑張る生徒がこんなに多いことに誇りを感じます。しかも運動会や部活動，いろんな学級活動や塾での勉強であったり，習い事をしたり，いろんな活動をしながらもこのような頑張りをしたのですから，すごいとしかいいようがありません。

その他にも漢検の合格者が30名，その中に，３年生の新里真由さんが２級合格，準２級合格が３年生の伊舎堂星さん，島袋夏鈴さん，大山巴菜さん，２年生の川村恕誠さん，比嘉彩乃さんの５名という快挙を遂げた人もいます。地区陸上の練習に参加した生徒は60名でした。

いろんな場面で，与えられた自分の仕事を黙々とこなす生徒もいます。神原中は日々前進と「飛躍」に向かっています。

一方でまだ，上手にできていないところはありませんか。「みそあじ」を徹底していますか。授業開始の時間，集合の時間は守られていますか。遅刻はしていませんか。言葉遣いはどうですか。先生方にためぐちをきいていませんか。みなりはきちんとしていますか。清掃は，しっかりと取り組めていますか。次の飛躍に向かう時には，これらのことを全校生徒がしっかり達成できることが鍵です。２学期はまた気持ちを新たにして新たな目標を決めて頑張ってほしいと思います。

将来，社会において素晴らしい社会人になるためには，中学校時代に基礎学力，人間力，体力を身につける努力を怠らないことが大切です。中学校時代は人生で一番重要な時期です。

神原中の生徒は，思いやりを持った優しくて素直な生徒が沢山います。そのみなさんをよりよく伸ばすために神原中学校の先生方は，朝早くから，夜遅くまで本当によく頑張っていらっしゃいます。教材研究や授業の準備を怠らず，気になる生徒へ電話をかけたり家庭訪問をしたり，一人一人を気にとめ心にかけています。皆さんが先生方を「信頼」し，先生方の指導をしっかり受け止め，自分を見つめ，よりよい方向へ成長する努力をすることはとても大切な事だと思います。 困ったこと，悩んでいること，心配なことなど，何かあったら必ず先生方に相談することを忘れないで下さい。先生と生徒が互いに支え合いながらよい学校を築いてきた一学期の終了にあたり，頑張った生徒の皆さん，先生方に感謝の言葉を伝えたいと思います。

ありがとう！

さて，少し話がそれます。ここ２，３日新聞やテレビを騒がしている話題があります。それは何か知っていますか。そうですノーベル賞。青色LEDの開発で３名の日本人がノーベル賞を受賞しました。赤崎勇氏８５才と天野浩氏５４才，中村修司氏60才です。研究者の誰もが見放した窒化ガリウムを使っての研究，実験を失敗しても失敗してもあきらめずに研究を続けての開発。20世紀は白熱球から蛍光灯の時代，２１世紀はLEDの時代と言われるまでにした方達です。３人の方の受賞の言葉は次のものです。

赤崎氏「環境に優しいというところがLEDのいいところ」
「誰にも認められず，我一人荒野をいくという気持ちだった」

天野氏「人の役に立ちたいという思いでやってきたことが認められて嬉しい」
「必ず出来るとの信念があれば，あとはあきらめないことだ」
「最も平均的な日本人である私でもノーベル賞を取れるのだから若い人の励みになる」

中村氏「『怒り』を飛躍のバネにしてきた」
「誰もがエネルギーを節約できるようになることが願いだ」

最後まであきらめずに何かに打ち込むということ，人の役に立つことをしたいという思いを３人の方に教えてもらいました。

さあ，短いですが，秋休みが始まります。一人も事件や事故に遭うことなく元気に無事に学校に戻ってくれることを心待ちにしています。

以上，一学期終業式のあいさつといたします。